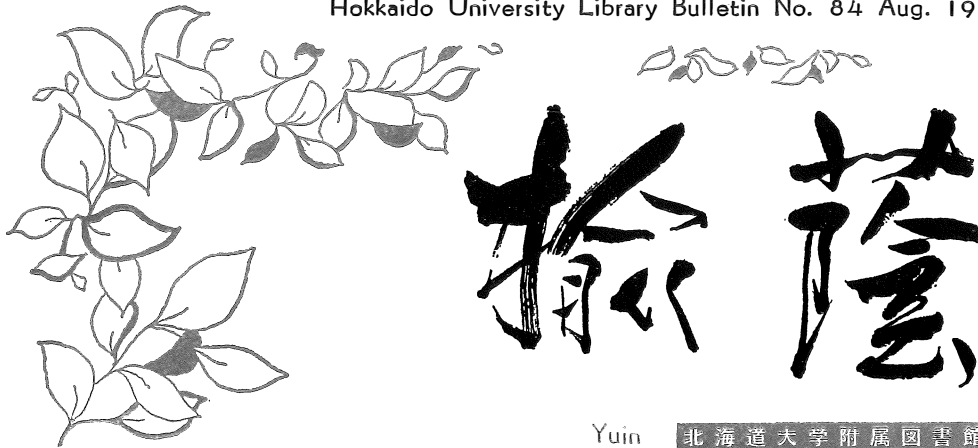




HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」84号
Issue Date	1992-08-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66460
Type	journal
File Information	yuin84.pdf





目 次

○図書館の“断片”あれこれ……………1	○部局図書室ニュース……………11
附属図書館事務部長 金井 孝	○本学教官著作物……………12
○発信する北大図書館 附属図書館情報システム課	○会 議……………13
図書館専門員 宇野弘純……………4	○研修・講習会等……………15
○刊行物案内……………7	○図書館統計……………16
○ニュース……………8	○図書館委員会及び教養分館委員会名簿……………24
○お知らせ……………9	○人物往来……………24

図書館の“断片”あれこれ

附属図書館事務部長 金 井 孝

大学から大学へ、図書館から図書館へと転任するのは、例えて言えば、その都度新しいジグソー・パズルを一組渡されるようなものである。このパズル、一寸変わっていて、組み上げると（今回は）北大図書館の絵になるはずだけれど、完成するまでは図柄がはっきりしない。何十片かの「ピース」にはおなじみのものもあるし、目新しいものもあって、赴任後の2・3カ月は委員会の記録や予算書、統計、とりわけ館報のバックナンバー等々をマニュアル代わりに、パズルに熱中する仕儀となる。何度も同じようなことをやっているうちに、コツもわかって来て、要領も良くなるけれど、やはり仕上げるには3・4カ月はかかってしまう。

先月（6月）のいつだったか、館報に何か書くように言われて、ハタと困った。「何か」とは多分図書館像のことだろうし、それは上のような次第でいまだ多分に漠としているからである。何回もお断りしたけれどお許しが出ない。いたし方なく二つ三つ「ピース」を拾い上げ、それに感想めいたものをつけ加えることで勘弁していただくことにした。

ところで、本学には今年、もっと大きなパズルに取り組んでいるグループがあって、正式の名称を「北海道大学附属図書館将来像検討委員会」と言う（榆蔭 No. 83, 1992, 4月参照）。この24人のグループはあるべき北大図書館のおおまかな下絵をかき終え、目下いくつかのサブグループにわかれ、それぞれ分担する部分について様々な断片のすり合わせ、組みかえを行っ

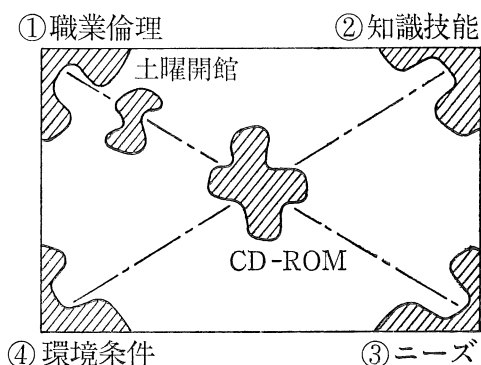
ているところである。何号か後のこの欄に組上がった新しい図書館の図が掲げられるのを大いに期待している。

* * *

この図書館のパズルも、定石どおり、まず、一辺が直角になっている断片を四つ、コーナーに置く所から始まる。全体の枠取りを決めることになるこの四つのピースは（私見では）①職業倫理 ②職員の知識技能 ③利用者のニーズ ④環境条件といったものである。もう少しくわしく言えば、①はどんな職業にもある、自らを律するルールや理念、②は伝統的な書誌・目録から電算機による情報処理までを含む職業的な知識・技能、③は多種多様な利用者の様々なニーズ、④は人、予算、施設・設備、等々それぞれの図書館が置かれている環境条件である。

今、①を左上に置き②・③・④と時計回りに配置すると図のような具合になるが、各々のピースはそれぞれ独自のエネルギーを持っているから、これをエネルギー間の拮抗の図としてみれば、この四辺形は四つの極を持つ磁場のようなものである。その磁場の中で各エネルギー間のバランスをとって、断片の場所を一つ一つきめて行くのが、このパズルの進め方になる。

例えば、この5月から稼働を始めた、本学の「CD-ROM マルチ検索システム」の場合をみると、大規模 LAN・HINES の存在、学内の財政的な支援 (④)、利用者の強いニーズ (③)「発信する図書館」を目指す図書館の志向 (① ②) がうまくかみ合って、ピースは場の中央に収まり、今後とも図書館像のキの一つとなっている。



一方、丁度 CD-ROM 検索システムの始動と同じ時期になる「土曜開館」では、エネルギー分布は大分ちがっている。週 40 時間制実施の前提になっている所謂「三無条件」(人員増はしない、新しい予算措置はしない、サービスは低下させない) の下で④はむしろマイナス要因であり、授業のない土曜日と言う新しい状況の下でのニーズ (③) ははっきりしないなど③・④から判断すれば、むしろ「土曜閉館」をとる理由も多々存在している。「図書館は 365 日、24 時間活動しているべきもの」と言う理念 (①) に引きつけて始めて「開館」の選択が可能になったとの意味合いで、当面、このピースの配置場所は①のコーナー近くである。

* * *

ジグソー・パズルの喩えが少々くどくなってしまったが、図書館の仕事を職業として選んだ人達は、多かれ少なかれこれに似たような枠組みを作って自分の仕事をおしはかっているのではないか。図書館の仕事を一口にサービス業と呼ぶけれど、考えてみると、これはなかなかにきびしい職業である。サービスは、自らの価値観に基づいて遂行される時には、まっとうな職業となるが、受身になって「ニーズ」に追い回されたり、自律性やエネルギーを失った時には、奴隷の労働に堕ちる危険性を常にはらんでいるからである。この綱渡りのような緊張感を楡蔭 78 号で館長・近藤先生が見事に書いて下さっている。綴込みのこの部分には前任者宮島部長のつけたマークが残っていて、同業者として、ここを読んだ時の宮島さんの感動がよくわかるのである。

* * *

下手な文章の常として、ここまで書いて来て、やっと、今回自分は何を書きたかったのかわかったような気がしている。

4月はじめにはセピア一色だった風景の所々にあわい色がみえたと思うや、まるでコマ落しの映像でも見ているように、日一日と緑が拡がり、色濃くなって行くその速さにただただ驚くばかり、驚きついでに「生き急ぐ」と言う言葉を思い出したりした。軽々しく気候・風土と人の気質を重ね合わせて、あれこれもっともらしい事を言うのは、感心した事ではないけれど、百数十万冊の遡及入力を行い、HINESに様々なソフトを乗せて発信する計画を一つ一つ着実に実行に移すなど、全国の国立大学図書館の先頭を切って走っているこの図書館のエネルギーと風土とのかかわり、それを日々、推し進めている人達と、生き急ぐにも似た草木の姿がつい重なってみえてしまう。私にとっては熱気にあおられるような毎日である。そして、この図書館の一角には、土曜開館に当たってもうかがえたように、館員の職業意識が、しっかり定着していて、全体をきりとひきしめている。スパイスのように、薬味のように。

着任以来、数カ月しかたっていないが、こんな図書館で仕事ができることを心底幸運と思っている。

附属図書館の土曜開館について

すでにご承知の通り、平成4年5月より、国立機関の完全週休2日制が実施されておりますが、本館及び教養分館は、当分の間土曜日も下記の通り部分開館しております。

開館時間： 午前9時～午後4時30分

開館箇所： 開架閲覧室

なお、利用は開架図書の閲覧・貸出及び返却と蔵書検索となっております。

発信する北大図書館—HINES を利用した図書館サービス—

附属図書館情報システム課図書館専門員 宇 野 弘 純

いよいよ HINES が全面的にサービス開始となりました。図書館としてもこれを最大限活用して利用者サービスを広げて行きたいと思います。ここで、現在図書館が取り組んでいる HINES に対応した図書館サービスの紹介と将来の展望をスケッチします。

1. HINES を利用した現在の図書館サービス

1) 北大蔵書検索サービス

北大図書館オンラインシステム (CLARK) には北大蔵書 280 万冊の 60% 以上の書誌所在情報データベースが形成されています。

これらをお手持ちのパソコンから検索することができます。検索方式は「コマンド方式」と「画面誘導方式」の2つを用意しました。

① 「コマンド方式」

一般の情報検索に用いられている方式で、コマンド (SEARCH とか DISPLAY) を送信して検索を進めるものです。コマンドを知る必要がありますがパソコン通信感覚で今すぐ利用できます。

HINES に接続して [C CLARK] とすれば、CLARK 検索の世界に入れます。

通信パラメーターは次のとおりです。

通信速度	9600 bps まで対応
データ長:	8 ビット
ストップビット:	1 ビット
パリティ:	なし
フロー制御:	RS/CS
SI/SO	あり
漢字コード:	JIS 83
同期方法:	非同期
エコバック:	ローカルエコあり (センター側なし)
DEL レコード受信時:	無視
RETURN キー押下時:	CR コードを送信
CR 受信時:	復帰のみ

検索の簡易マニュアルは、電子掲示板 o. library にあります。

② 「画面誘導方式」

各部局図書室の CLARK 専用端末と同じ感覚 (CLARK 専用端末はカナ入力のみ、本方式はローマ字入力も可) でコマンドを覚えなくとも画面の操作指示に従って検索を進めることが出来ます。ただしこれを利用するには「ET」という通信ソフトが必要です。(NECPC 98 シリーズのみ対応)

この通信ソフトは各部局図書室にオリジナルフロッピーを1枚用意してあります。ご希望の方はこれを借りだしてご自分のパソコンで実行可能ディスクを作成してください。簡易マニュアルも同時にお渡します。

なお、バージョンアップ、連絡等のために ET ユーザーのクローズドフォーラムに参加登録させていただきます。図書館からのその後のご案内等は、このクローズドフォーラムにより行います。

2) 電子掲示板

「o. library」

これは図書館の公用掲示板です。図書館利用者へのお知らせを掲載します。開館時間の変更や行事など図書館の利用案内、HINES 利用者へのシステム利用案内などを随時掲載します。是非「読む」に設定しておいてください。

「o. library reference」

これは書き込み自由の掲示板です。文献や事柄についての問い合わせなどを送っていただきたいと思って開設した掲示板ですが、これにこだわらず、図書の紹介・書評・購入希望の図書などの「投書箱」として使っていただいても結構です。

「f. librarian」

これは図書系職員によるオープンフォーラムです。図書館関係の記事・報告などを紹介し合う掲示板として有志が設けたものです。

この3月、図書館では全学の図書系職員による「北大附属図書館将来像検討委員会」を設置しました。ここでの討議内容についてもいくつか紹介したいと思います。委員以外の職員や利用者の意見・アイディアも期待しています。

3) CD-ROM マルチ検索システム

関係者の多大のご支援により附属図書館に CD-ROM マルチ検索システムが設置されました。これは CD-ROM 化されたデータベースを HINES 経由で複数の利用者が同時に検索できるシステムです。世界的なデータベースを研究室等から 24 時間いつでも無料で利用できる訳で、まさに HINES 時代にふさわしい新サービスであると思います。

ただし、これを利用するには一定の周辺機器を揃えた特定の機種に限られます。またユーザー登録数に制限があります。

「推奨機種」接続・初期設定作業を確実にできるもの。

NEC パソコンの場合

① パソコン本体

NEC パソコン、PC 9801 RA 2 また RA 21、ハードディスク内蔵型

② イーサーボード

アンガマンバスまたはネットワーク社製

③ EMS メモリ

NEC 純製品またはメルコ社製、IO データ社製で 1 MB 以上

④ ハードディスク：内蔵型ではなく、外付けの場合

NEC 純正品または、緑電子 A 40 以上または、HUM-40、ニューテック社製品

⑤ トランシーバ及びトランシーバケーブル

アンガマンバスまたはネットワーク社製

IBM 系パソコンの場合

① パソコン本体

SONY Quarter-L PCX-32 DS

② イーサーボード

NOVELL 社製

③ EMS メモリ

当該パソコンメーカー純正品

④ ハードディスク (外付け)

当該パソコンメーカー純正品

⑤ トランシーバ及びトランシーバケーブル

アンガマンバス社製

なお、接続機種についての問い合わせはまず、附属図書館情報処理掛 (Tel. 2524) にお願ひします。

4) CLARK (北大蔵書) 検索時間の延長

北大図書館オンラインシステムの運用時間をこの9月から延長することを予定しています。

CLARK サービス提供時間を延長できるようにするためには、システム本体に高額な MT 自動装填装置の導入と担当要員の経常的時間外作業が必要であるためその実現は困難でしたが、かねてよりのご要望に応えるべく努力した結果、このたび各方面のご理解とご協力を得ることができました。

なお、この MT 自動装填装置設置作業のため8月15日(土)から8月30日(日)まで、CLARK システムは全面停止となります。

2. 計画中の今後のサービス

1) Current Contents のオンラインネットワークサービス

利用者側から見ると、CD-ROM マルチ検索システムとほぼ同じシステムによる ISI 社の Current Contents を HINES 経由で検索できるようにするサービスです。当初の提供データベースとしては Life Science の Abstracts 付きを考えています。

このシステムの構築には1000万円近い導入経費とデータベース継続購入費(マルチユーザー契約)が必要となります。とても図書館の自助努力だけでは不可能です。しかしその導入効果はデータベースが対象とする学問分野の広さ、学内重複購入の調整効果を考慮すれば CD-ROM マルチ検索システムを上回るものであり、全学のご理解と協力を得て早期に実現したいと考えております。

2) 北方関係総合データベース統合検索システム

附属図書館には世界的集書といってよい北方地域関係の資料・全国共同利用の大型コレクションを多数所蔵しています。これらの資料の検索サービスは、書誌事項によって単に「或る資料が北大に所蔵されているか」がわかるだけでは不十分であり、主題関心に沿って「〇〇に関するどんな資料があるか」についての情報を提供する必要があります。

このことを実現するため、これら多種多様な資料を画像情報をも含めた「北方関係総合データベース」をワークステーション上に構築し、学内のみならず、全国、世界の斯界の研究者に提供するという計画です。

システムの開発には次のような段階を想定しています。

① 既に完成している北方関係各資料目録をデータベース化(文字情報)し、主題関心からも且つ目録横断的に検索できるようにする。

このデータは学術情報センターにも蓄積し、国内大学からはもとより海外からも検索できるようにする。

- ② 既に目録化された画像資料をデータベース化し、来館者が文字情報と並立検索できるようにし、強力なレファレンス機能を提供する。
- ③ 将来的には文字情報と画像情報を同一ワークステーションでマルチウィンドウ検索・表示できるようにする。

これも 3000 万円規模のシステムですが、北大ならではの情報サービスとして今年度から概算要求を行っています。

3) 統合文書機能の活用

これは現在、全学図書系職員による「図書業務 HINES 対応準備委員会」を設置し、業務上の連絡などに具体的に活用を始めています。

さらに、ここ 1 年ほどかけて操作に習熟し、とくにメール機能、イメージデータ送受信機能を活用した利用者サービスを実施して行きたいと考えています。

◆ 刊行物案内

「明治大正期北海道写真集」

附属図書館北方資料室では、昨年 3 月刊行した「明治大正期北海道写真目録」にひきつづいて、写真集本体の編集作業を進めてきました。標記の「写真集」は、その成果として本年 3 月刊行に至ったものです。北方資料室に収蔵されている写真コレクションの史料的价值とその目録編集の意義・目的などについては、すでに本誌 82 号と「目録」の序文に詳しく解説されておりますので、ここでは主として利用の面からみた「目録」と「写真集」とのかかわりについて触れておきます。

この「写真集」は「目録」を補足するものとして編集されたものです。具体的には「目録」に採録されたおよそ 5,000 点の写真のうち、約 1,900 点を収録したものです。写真の選択に際しては資料内容の記録性と貴重性を優先させました。また、できる限り多くの資料を収録するため、個々の写真の規格を統一しました。その結果、全体的なレイアウトがやや単調な感じになったことは否めませんが、利用の可能性を高めるためには、これも止むを得ない選択でした。

「写真集」では、特別の場合を除き全ての写真が「目録」の掲載順序に従って配列されています。これによって双方向からの対照が容易になります。例えば、写真名など「目録」の記述データのみでは、写真の図柄・構図をイメージすることは困難ですが、配列順序・配列番号の共通化により、即座に目的の写真にたどりつくことができます。一方、「写真集」から「目録」を参照することにより、写真の年代、大きさ、種類、撮影者名など、一連の写真情報を容易に得ることができます。

この「写真集」に収録された資料は、撮影後の経過年数よりみて、著作権上の制約をすでにクリアしているものと判断されます。従って、営利を目的とせずに利用する場合は、この「写真集」より自由に複写・転載してさしつかえありません。また、北方資料室では多年にわたり、原写真の保存のためネガ・フィルムの作製と写真複製の作業を進めておりますので、「目録」に収録されながら「写真集」の対象になっていないものについても、すみやかに複製写真を提供することができます。

「目録」は道内外の大学、公共図書館、博物館、資料館など主として公共機関に限り配付しましたが、その後全国から写真利用の照会、複製の依頼が急増しており写真資料への関心の高さを知らされました。今後、「写真集」と「目録」とが相互に補完しながら、貴重な古写真コレクションのより一層の活用に役立つことが期待されます。なお、この両出版物は近く北大図書刊行会より「明治大正期の北海道一写真と目録」と装いを新たに市販される予定になっております。

◆ ニュース

○ HINES による CD-ROM マルチ検索について

平成3年度末に本学学内 LAN (愛称 HINES) が完成したことに伴い、附属図書館に、学内関係者の支援をえて、CD-ROM マルチ検索システムが設置された。これによって、現在は接続台数に限りはあるが、学内のどの研究室からでも、当館の CD-ROM にアクセスできることになり、これまでのように、当館にこなければ利用できないということはなくなったことになる。

CD-ROM は、一度使用した人であればご存知のとおり、検索手段の豊富さ、データの新しさ、無料であること、使用方法が非常に簡単であること、その収蔵されているデータの豊富さに比してほとんど場所をとらないこと等から、画期的な二次資料として、その種類も驚くほどの量で増えつつある。

現在、マルチ検索で利用できる CD-ROM は、下記のとおりで、機器の保守のための午前9時～10時の休止時期を除いて1日中利用でき、また、土曜、日曜も利用できるということで、図書館サービスの24時間化、通年利用に一步近づいたことになる。

今後の新しい CD-ROM の購入については、できるだけ多くの部局にまたがって利用者がいることが一つの条件となり、その部局だけでしか利用しないものについては、その部局で購入するということになると思われる。

当館で利用する場合は、電話 (2973, 4107, 3615) で予約しておく、無駄足を運ばずにすむ。

1. Medline 1986～ (最新年は毎月累積更新)
2. BIOSIS 1992～ (年4回累積更新)
3. Books in Print 最新版 (年4回更新)

* 3. については、現在のところ、IBM の機種に限って使用できる。

* 前号に掲載の各 CD-ROM 使用開始年数は、上記のとおり訂正します。

○ HINES による CLARK 蔵書検索サービスの拡大及び通信ソフトの配布について

このたび附属図書館では、学内 LAN=HINES が平成3年度末に完成したことに伴い、無手順検索システムの拡充を図るために、平成4年5月1日から、ラインモード (コマンド方式) を2回線、フルスクリーンモード (画面誘導方式) 2回線、合計4回線、そして現行の公衆回線を

1 回線を併せて、5 回線分を用意いたしました。これにより、飛躍的に図書館の蔵書検索サービスの効率がよくなるものと思われます。

ラインモードは HINES を利用した回線増を機会に、従来の無手順検索システムを利用するときには、図書館に利用申請してもらい、ユーザー ID を発行していましたが、この手続きを廃止し、学内の構成員であれば、誰でもが自由に利用できるようにいたしました。自宅からでも、研究室からでも、図書館の利用者端末を利用するのと同じように手近なところで手続きを必要とせずに蔵書検索ができることになります。

フルスクリーンモード (画面誘導方式) は各部局図書室の CLARK 専用端末と同じ感覚でコマンドを覚えなくとも画面の操作指示に従って検索を進めることが出来ます。ただしこれを利用するには「ET」という通信ソフトが必要です。(NECPC 98 シリーズのみ対応)

この通信ソフトをご希望の方は各部局図書室にお申し込みください。

附属図書館では、このプログラム [ET. EXE] を入手し、去る 5 月末に部局図書室を通して希望者に配布しましたが、当方の作業過程で (健全であったオリジナルプログラムから配布用プログラムに複製したときに) コンピューターウィルスが付着してしまいました。

土日を含んで 7 日後の 6 月 15 日には配布者全員 (結果的に 81 名) に感染拡大の防止と応急処置による対応を完了しましたが、この間、関係者に大変ご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げますとともに、ご協力にたいして感謝申し上げます。

今後、このようなことが無いように、日頃からウィルスの感染及び再感染の防止に細心の注意を払うと共に、万一起こった場合にはさらに迅速な対応をとれるよう、この蔵書検索プログラム (ET. EXE) の再配布は以下のようにしたいと思います。

1. 配布を希望される方は、各部局図書室にお越しください。
2. MS-DOS のオリジナルディスクで立ち上げた情報システム課のパソコンで複製したプログラム (フロッピー) をお貸しします。
3. 利用者にご自分のパソコン等で実行ディスクを作成し、借り出したフロッピーは各部局図書室にお返し下さい。
4. 上記 2 及び 3 による利用者のみを「ユーザー」とさせていただき、バージョンアップ連絡・緊急連絡のために、HINES クローズドフォーラム [f. et:sys] に参加登録していただきます。

◆ お知らせ

○ 附属図書館書庫内の資料を一部移動しました

現在附属図書館では書庫の図書の部分的再配置作業を行っております。以下に移動した主な資料についてお知らせ致します。

大型コレクション:

ティーム文庫・ベルンシュタイン文庫	図書館 3 階貴重書庫 (仮称)
その他のコレクション	東書庫 1 層電動書架

洋書:

000-500 (図書館) / 000-800 (法学部)	2 層
600-900 (図書館) / 900 (法学部)	1 層

その他、ご不明の点があれば係員までお問い合わせ下さい。

書庫移動作業が長期にわたって続いております。なにかとご不便をおかけしておりますが、もうしばらくの間ご協力をお願いいたします。

○ 北海道大学図書館オンラインシステムのサービス停止について

附属図書館ではこの度、かねてからご要望のあった CLARK 蔵書検索サービスの時間延長を実現するため、カートリッジ磁気テープ装置を導入することになりました。

この導入作業は機器の装着だけではなく、OS の変更も伴い、全データの退避、全プログラムの修正作業などを必要とする大がかりなものとなります。

つきましては、下記の期間 CLARK システムのサービスは全面停止させていただきます。長期にわたりご不便をおかけしますが、ご理解の上ご協力をお願いいたします。

サービス停止期間 平成4年8月15日(土)～8月30日(日)

○ 第2期北大図書データベース遡及入力第1年次報告

第1期に引き続き平成3年度から始まりました第2期第1年次の入力冊数は以下のとおりです。

ほとんどがオリジナル入力であったこと、初年度のため要員の教育に時間を要したことなどのため、当初計画からは若干下回った数字になりました。

今年度は第2年次ですが、約 35,000 冊の入力を予定しています。

附属図書館	和書 洋書	3,561 冊 6,098 冊	9,679 冊
教養分館	和書 洋書	310 冊 24 冊	334 冊
文学部	和書 洋書	70 冊 105 冊	175 冊
経済学部	和書 洋書	197 冊 1,817 冊	2,014 冊
医学部	和書 洋書	999 冊 —	999 冊
工学部	和書 洋書	6,072 冊 —	6,072 冊
農学部	和書 洋書	796 冊 600 冊	1,396 冊
獣医学部	和書 洋書	761 冊 1,177 冊	1,938 冊
合計	和書 洋書	12,766 冊 9,821 冊	22,587 冊

◆ 部局図書室ニュース

医学部図書館、自動入退館装置を導入

医学部図書館では、平成3年度中から近く実施と思われる土曜日閉庁を予測しこの対策としての図書館利用法を、職員の管理によらない図書館利用を目的とする機器による管理（コンピュータ管理による自動入退館管理システム）を検討してきました。

このシステムの検討内容についてはあまりにも盛り沢山となりますのでここに詳しく紹介することは出来ませんがそのうち主なものを挙げますと、利用対象者、利用施設、利用出来る資料、利用規則の改定、などの検討を経て設備機器の選定にいたるまでの仕事を行っております。

平成4年3月中にはこれらの業務が完了し土曜日閉庁実施に合わせて機器等の試行を繰り返したうえで、本年5月9日の土曜日より本システムをスタートさせました。

自動入退館管理システム（当館で勝手に名付けたものでいろいろな呼び方があります）とは、何かの資料に以下のように書いてありましたので引用しました。

○ 自動入退館管理システムとは

建物の出入口に設置したカード読み取り機により機器内に登録された個人情報を判断して自動扉を開閉するもので、登録者のみが建物に出入りできる装置及び周辺機器の運用・管理等を総称して自動入退館管理システムと言う。

この中にあるように登録者（利用者）のみが建物（図書館）に出入りできるとあるように、機器による管理の主務は利用者管理と庁舎管理となります。

ですから前記のように学部内のどのような人が利用したか等の利用者管理とか統計資料の作成など、また庁舎管理では電子錠の設置（カード読み取り装置と連動）、館内照明等も同システムで行っております。

次に実際に医学部図書館での同システムの内容について要点のみですが紹介します。

*利用者

機器の規模によりますが当館では、最大2,000人まで登録できます。

当館での利用登録者は約600人、利用目的が研究ですので大学院生、医員、教職員、図書館職員を登録しています。職種により利用日時その他の制限をかけてありますので、利用は各土曜日の午前9時より午後2時30分までしか利用できないのが当館での登録です。

*利用者カード

通常の磁気カードです。

利用者カードを読み取り装置に読ませることで入退館を実行します。

*機器構成

ホストコンピューター及びシステムソフト

利用者管理、庁舎管理、事務管理（統計等）など一切のことを行っています。

*磁気カードリーダー

利用者カードの読み取り装置です。

当館玄関入り口に入、退館用2カ所設置してあります。

*電子錠

通常は施錠されていますがカードを読ませると開錠します。

* カメラ監視装置

災害時、盗難などに備えた予備装置です。

* 非常用退室装置

災害などの非常時に使います。

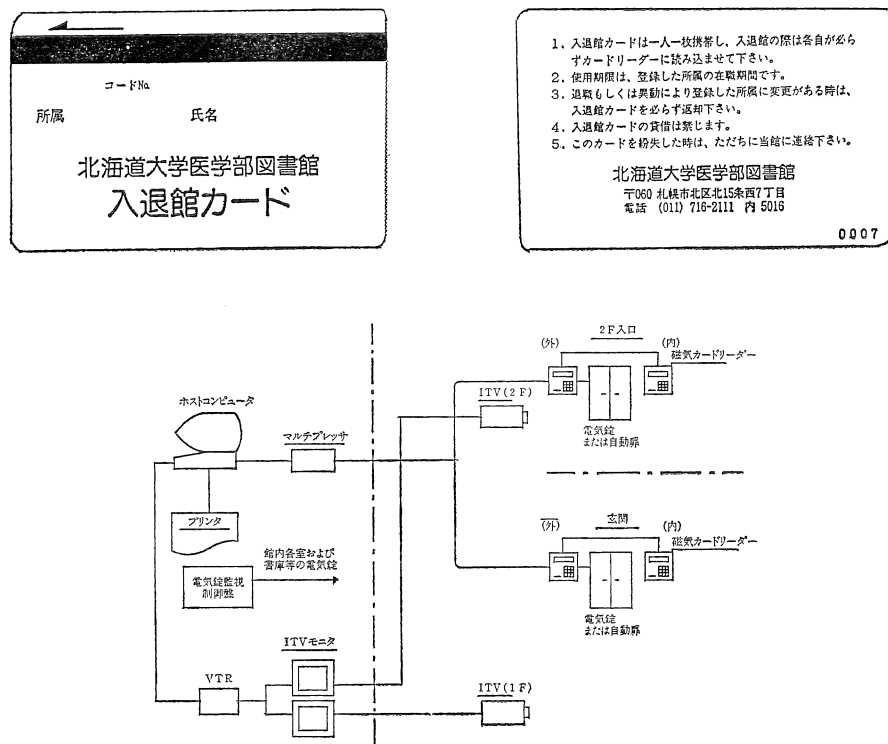
* 照明管理装置

最初の入館者で点灯し最後の退館者で消灯するようにセットしてあります。

点灯箇所は規則で決められた利用出来る施設のみ点灯します。

以上簡単ですが紹介とさせて頂きました。他に利用者カード、システム構成図を付けましたので参照して下さい。

(医学部図書館)



◆ 本学教官著作物 (本館・分館受贈分)

本学教官の方々から附属図書館に下記の著作図書を御寄贈いただきました。

[本 館]

○ 名 誉 教 授

- | | |
|--------|---|
| 五十嵐 清 | 比較法史研究の課題 (比較法史研究 1) 比較法史学会編 比較法制研究所
未来社 (発売) 1992 |
| 和田 謹 吾 | マイクロ版論文集『島崎藤村 II』(観白亭叢刊第八) 私家版 1992 |
| 藤田 宏 達 | THE LARGER SUKHĀVATĪVYŪHA: Romanized Text of the Sanskrit
Manuscripts from Nepal. Pt. I (梵文無量寿経写本ローマ字本集成 上巻) 山喜房
佛書林 1992 |
| 今村 成 和 | 行政法入門 第5版 (有斐閣双書 7) 有斐閣 1992 |

// 独占禁止法入門 第3版 (有斐閣双書33) 有斐閣 1992

○文 学 部

栗生沢猛夫 (共訳) 歴史学の革新 (A. Я. グレーヴィチ著) 平凡社 1990

一ノ瀬 恵 (訳) 怒れる神との出会い (キャロベス・レアード著) 三省堂 1992

// (共著) 北の言語 宮岡伯人編 三省堂 1992

○経 済 学 部

長岡新吉・宮本謙介 (編著) 世界経済史入門 ミネルヴァ書房 1992

○法 学 部

奥 田 安 弘 国際取引法の理論 有斐閣 1992

実方 謙二 (共著) 企業結合と法 (現代経済法講座3) 三省堂 1991

// (共編) 教材独占禁止法 第4版 青林書院 1992

鈴 木 賢 現代中国相続法の原理 (アジア法叢書14) 成文堂 1992

○工 学 部

杉野目 浩 (共著) スポーツと化学 (一億人の化学1) 日本化学会編 大日本図書 1991

〔教 養 分 館〕

○文 学 部

南 部 昇 日本古代戸籍の研究 吉川弘文館 1992

栗生沢猛夫 (共訳) 歴史学の革新 (A. Я. グレーヴィチ著) 平凡社 1990

附属図書館では、本学教官著作物をできる限り収集するようつとめております。今後とも、よろしくご協力下さい。

◆ 会 議

第149回 図書館委員会 <平成4年7月9日(木)>

議 題

1. 平成3年度決算について
2. 平成4年度予算(案)について
3. 週休2日制実施に係る当面の対応について
4. CD-ROM マルチ検索システムの接続利用に関する要項(案)について
5. 重複和雑誌の不用決定について(第2期1次分)
6. そ の 他

報 告 事 項

1. 平成5年度概算要求事項について
2. 第39回国立大学図書館協議会総会について
3. 遡及入力について
4. カレントコンテンツ(ライフサイエンス)のオンラインネットワークサービスについて
5. 大型コレクションについて
6. そ の 他

第108回 教養分館委員会 <平成4年4月28日(火)>

議 題

1. 平成3年度教養分館図書費決算について
2. 平成4年度教養分館図書費要求額(案)について

楡 蔭 (北大図書館報)

3. 資料等選定小委員会委員の選任について
4. 週休2日制実施に伴う教養分館の対応について
5. そ の 他

第109回 教養分館委員会 <平成4年7月23日(木)>

議 題

1. 平成4年度教養分館図書予算について
2. 平成4年度参考図書・視聴覚資料の選定について
3. 学習用自然科学系図書購入費に係る図書の選定について
4. そ の 他

第39回国立大学図書館協議会総会 <平成4年6月25日(木)~26日(金)>
帯広畜産大学

協議題等

1. 予算・決算等協議会の維持・運営に関する諸事項
2. 奈良先端科学技術大学院大学の加盟について
3. 完全週休二日制への対応について
4. 保存図書館の設置について
5. 文部省所管事項説明
6. 研究集会「21世紀に向けての保存図書館構想について」

北海道地区国立大学附属図書館事務部課長会議 <平成4年2月20日(木)>
北海道大学

議 題

1. 第39回国立大学図書館協議会総会について
2. 第24回北海道地区国立大学図書館協議会について
3. 週40時間勤務体制について

北海道地区国立大学図書館協議会総会 <平成4年4月16日(木)>
旭川医科大学

議 題

1. 北海道大学図書館職員講演会について
2. 平成5年度全国図書館大会について
3. 平成4年度目録システム講習会について
4. 第39回国立大学図書館協議会総会について
5. 外国雑誌について

平成4年度国立大学附属図書館事務部課長会議 <平成4年5月25日(月)>
東京医科歯科大学

議 題

1. 学術行政の当面する諸問題について
2. 大学図書館の当面する諸問題について
3. 日本の研究者と大学図書館(講演)
4. そ の 他

◆ 研修・講習会等

○北海道大学図書館オンラインシステム新任担当者実務研修

端末基本操作研修(平成4年4月14日 13:00~16:30) 出席者11名

- CLARK システムの概要
- 端末基本操作の説明及び操作実習
- ATSS (出力) の説明及び操作実習

雑誌管理システム研修(平成4年4月15~17日 9:00~16:30) 出席者7名

- 雑誌システムの概要
- 受入・支払の説明及び操作実習
- 書誌・所蔵データの作成の説明及び操作実習
- 製本処理の説明及び操作実習
- 共通システムの説明及び操作実習

目録管理システム研修(平成4年4月20~22日 9:00~16:30) 出席者7名

- 目録システムの概要
- 学情システム・ケース2の説明及び操作実習
- 北大目録システムの説明及び操作実習

検索・閲覧システム研修(平成4年4月23日 9:30~12:00) 出席者9名

- 蔵書検索システムの説明及び操作実習
- 閲覧管理システムの説明及び操作実習
- NACSIS-IR の説明及び操作実習
- 共通システムの説明及び操作実習

図書管理システム研修(平成4年4月23日 13:00~16:30) 出席者7名

- 図書管理システムの説明及び操作実習
- 共通システムの説明及び操作実習

○平成4年度大学図書館職員長期研修 4.7.13~7.31 文部省及び図書館情報大学

受講者 紙屋国男(水産学部図書掛)

○平成4年度図書館等職員著作権実務講習会 4.7.22~7.24 (主催)文化庁,(場所)東京大学

受講者 落合典子(工学部図書閲覧掛)

長野美年子(薬学部図書掛)

○平成4年度漢籍整理長期研修 4.7.6~7.24 東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター

4.7.27~10.20

受講者 猿橋キミヨ(文学部図書掛)

○平成4年度目録システム講習会 4.6.22~6.26 学術情報センター

受講者 齋藤温子(薬学部図書掛長)

○平成4年度ILLシステム講習会 4.6.11~6.12 学術情報センター

受講者 宮本慶子(教育学部図書掛)

○平成4年度NACSIS-IR講習会 4.7.9~7.10 (主催)学術情報センター,(場所)北海道大学附属図書館

受講者 18名(氏名省略)

◆ 図 書 館 統 計

○ 平成 3 年度 部局別蔵書冊数

(平成 4 年 3 月 31 日現在)

部 局 区 分	和 書	洋 書	合 計	備 考
附 属 図 書 館	519,955	413,607	933,562	法学部, 経済学部 of () を含む
教 養 分 館	122,523	72,632	195,155	言語文化部を含む
文 学 部	99,119	130,047	229,166	
教 育 学 部	75,170	28,451	103,621	
法 学 部	(70,118)	(125,438)	(195,556)	(附属図書館所蔵)
経 済 学 部	{(50,694) 37,066}	{(27,507) 21,606}	{(78,201) 58,672}	(")
理 学 部	47,141	144,911	192,052	{情報処理教育センター, 実験生物セ ンターを含む
医 学 部	64,172	91,742	155,914	附属病院, アイソトープ総合セン ターを含む
歯 学 部	16,058	16,034	32,092	附属病院を含む
薬 学 部	5,604	15,307	20,911	機器分析センターを含む
工 学 部	175,333	142,355	317,688	
農 学 部	200,455	110,944	311,399	附属農場, 附属演習林を含む
獣 医 学 部	10,826	21,473	32,299	
水 産 学 部	75,799	47,844	123,643	
教 養 部	15,658	7,752	23,410	
言 語 文 化 部	(20,039)	(58,375)	(78,414)	(教養分館所蔵)
環 境 科 学 研 究 科	11,524	5,885	17,409	
低 温 科 学 研 究 所	7,305	16,960	24,265	
応 用 電 気 研 究 所	5,811	18,035	23,846	
免 疫 科 学 研 究 所	1,470	6,937	8,407	
触 媒 化 学 研 究 セ ン タ ー	3,256	11,229	14,485	
ス ラ ブ 研 究 セ ン タ ー	1,123	13,623	14,746	
大 型 計 算 機 セ ン タ ー	944	1,780	2,724	
事 務 局	1,824	156	1,980	保健管理センターを含む
医 療 技 術 短 期 大 学 部	21,355	3,245	24,600	
計	1,519,491	1,342,555	2,862,046	

○ 平成3年度年間受入： 図書冊数・雑誌種類数

区 分 局	図 書 受 入 冊 数							雑 誌 受 入 種 類 数						
	和 書			洋 書			合 計	和 雑 誌			洋 雑 誌			合 計
	購入	寄贈	その他	購入	寄贈	その他		購入	寄贈	その他	購入	寄贈	その他	
附 属 図 書 館	6,510	1,826	16,133	4,499	230	20,490	49,688	284	1,916	0	421	508	0	3,129
教 養 分 館	3,239	44	194	2,236	8	619	6,340	220	57	0	140	6	0	423
文 学 部	2,441	147	105	5,116	553	2,227	10,589	154	759	2	709	10	0	1,634
教 育 学 部	2,168	13	624	500	0	75	3,380	467	716	0	194	10	0	1,387
法 学 部	(1,332)	(230)	(529)	(2,201)	(108)	(824)	(5,224)	(147)	(333)	(0)	(341)	(48)	(0)	(869)
経 済 学 部	(1,435)	(94)	(86)	(1,251)	(55)	(187)	(3,108)	149	560	1	284	48	1	1,043
	0	0	0	0	0	207	207							
理 学 部	425	9	202	980	171	1,860	3,647	139	288	1	767	338	4	1,537
医 学 部	641	206	754	452	73	2,720	4,846	282	632	0	711	182	2	1,809
歯 学 部	351	47	316	107	28	711	1,560	140	176	0	212	51	4	583
薬 学 部	189	3	27	64	0	455	738	43	53	0	111	5	0	212
工 学 部	1,367	6	780	755	42	1,913	4,863	324	479	3	848	112	1	1,767
農 学 部	2,034	161	1,154	626	15	320	4,310	366	949	2	589	362	2	2,270
獣 医 学 部	152	7	38	114	6	260	577	51	45	0	134	60	1	291
水 産 学 部	687	0	401	126	3	1,052	2,269	205	666	3	267	459	2	1,602
教 養 部	—	—	—	—	—	—	—	42	409	0	120	21	0	592
言 語 文 化 部	(1,036)	(0)	(32)	(2,059)	(7)	(194)	(3,328)	(63)	(38)	(0)	(128)	(5)	(0)	(234)
環境科学研究所	504	67	100	155	1	211	1,038	43	81	0	128	36	1	289
低温科学研究所	50	2	125	75	0	408	660	23	391	2	102	226	2	746
応用電気研究所	89	0	11	158	0	478	736	29	120	0	107	10	0	266
免疫科学研究所	15	0	0	20	0	199	234	15	102	0	50	0	0	167
触媒化学研究 センター	21	2	4	65	0	206	298	17	1	0	42	16	3	79
ス ラ ブ 研 究 セ ン タ ー	123	9	47	3,198	132	870	4,379	8	23	1	410	59	1	502
大 型 計 算 機 セ ン タ ー	38	0	0	132	0	0	170	36	33	2	55	0	0	126
医 療 技 術 短 期 大 学 部	1,202	51	228	60	0	52	1,593	154	108	0	62	2	0	326
合 計	(3,803) 22,246	(324) 2,600	(647) 21,243	(5,511) 19,438	(170) 1,262	(1,205) 35,333	(11,660) 102,122	(210) 3,191	(371) 8,564	(0) 17	(469) 6,463	(53) 2,521	(0) 24	(1,103) 20,780

- ・〔部局：集計単位としての部局〕 附属図書館には法学部，教養分館には言語文化部，理学部には情報処理教育センター，実験動物センター及び遺伝子実験施設，医学部には附属病院及びアイソトープ総合センター，歯学部には附属病院，薬学部には機器分析センター，工学部には量子界面エレクトロニクス研究センター，農学部には附属農場及び附属演習林の分をそれぞれ含む。
- ・〔その他〕は，雑誌を製本として受け入れたもの及び管理換えで増となったもの＝図書館の例では自然系バックナンバーのものとスラブ研究センターからの「管理換」＝がほとんどである。

○ 平成 3 年度 附属図書館利用数

(開館 283 日)

区 分 部 局		開 架 閱 覧 室		書 庫			参 考 閱覧室	北 方 資料室	語 学 演習室
		館 外 貸 出		館内閲覧	館 外 貸 出				
		人 数	冊 数	冊 数	人 数	冊 数	利用者数	利用者数	利用者数
学 生 所 属 部 局	文 学 部	2,792	5,501	6,743	836	1,692	596	239	354
	教育学部	573	1,196		125	238	83	65	
	法 学 部	3,011	5,509		971	1,436	129	62	
	経 済 学 部	1,283	2,359		258	173	116	41	
	理 学 部	3,145	6,238		53	49	58	13	
	医 学 部	250	505		22	10	64	7	
	歯 学 部	212	427		0	0	27	0	
	薬 学 部	568	1,245		4	8	14	4	
	工 学 部	963	1,811		31	40	65	78	
	農 学 部	1,154	2,274		49	78	73	37	
	獣医学部	105	223		2	6	67	10	
	水産学部	3	6		0	0	10	4	
	教 養 部	5,732	10,929		387	517	401	226	
	研究所ほか	32	65		9	12	27	9	
医療短期大	541	1,065	25	37	38	4			

区 分 部 局	開 架 閱 覧 室		書 庫			参 考 閱 覧 室	北 方 資 料 室	語 学 演 習 室
	館 外 貸 出		館内閲覧	館 外 貸 出				
	人 数	冊 数	冊 数	人 数	冊 数	利用者数	利用者数	利用者数
院 生 教 官 職 員 学 外 利 用 者 (含放送大学)	2,641	5,253	1,595	2,913	7,794	1,472	180	20
	731	1,407		2,305	5,536		245	
	923	1,845		622	232		78	
	344	705	2,922	643	1,872	385	1,207	
利 用 者 合 計	25,013	—	5,609	9,255	—	3,625	2,509	374
利 用 冊 数 合 計	—	48,563	11,260	—	19,730	752 ¹⁾	2,144 ²⁾	375

- 注 1) 国連資料・OECD 資料・EC 資料・図書館学資料及び参考図書 (一夜貸出)
 2) 館外貸出冊数のみ。
 3) 参考閲覧室、北方資料室の学内利用者は学生欄にまとめた。

○ 平成3年度 教養分館利用数

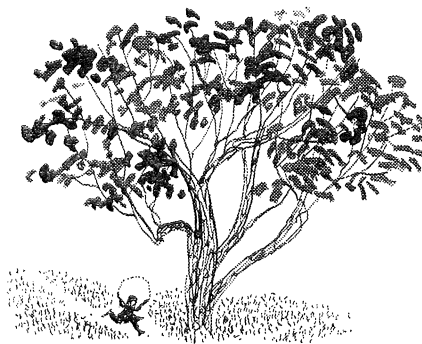
(開館 291 日)

区 分 部 局	開架図書室 (館外貸出)		語学演習室 (館内利用)		ビデオ視聴室 (館内利用)	
	人 数	冊 数	人 数	巻 数	人 数	巻 数
文 学 部	1,060	1,921	61	67	87	120
教 育 学 部	119	217	1	1	15	15
法 学 部	396	725	24	25	64	71
経 済 学 部	311	539	61	98	35	35
理 学 部	1,444	2,512	53	71	101	130
医 学 部	362	611	22	22	39	42
歯 学 部	89	171	0	0	16	17
薬 学 部	414	771	1	1	7	10
工 学 部	1,302	2,242	31	32	63	76
農 学 部	227	425	6	6	16	18
獣 医 学 部	147	255	1	1	9	9
水 産 学 部	4	4	0	0	4	6
教 養 部	20,270	33,992	409	428	1,577	1,722
医 療 短 期 大	182	325	3	4	1	7
放 送 大 学	0	0	0	0	0	0
院 生	822	1,502	51	56	71	80
教 官	336	709	10	10	19	21
職 員	695	1,310	13	13	12	14
学 外 利 用 者	65	143	0	0	0	0
合 計	28,245	48,374	747	835	2,136	2,393

館外貸出・分類別

(教養分館)

000 総 記	7,808
100 哲 学	2,881
200 宗 教	363
300 社 会 科 学	4,124
400 語 学	633
500 純 粋 科 学	18,175
600 応 用 科 学	2,148
700 芸 術	1,564
800 文 学	5,521
900 地 理・歴 史	4,473
雑 誌	609
そ の 他	75
合 計	48,374



○ 平成 3 年度 文献複写・相互利用統計

I. 国内： 附属図書館相互利用掛を経由して学外へ依頼した件数 (国立・私立とも)

申込部局	附属図書館	文学部	法学部	教育学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部		農学部		獣医学部
件数	7	28	358	19	139	11	0	3		18		10
申込部局	言語文化部	環境学	低温研	応電研	触媒研	免疫研	医療大	工	薬	スラ研	大型	合計
件数	77	101	4	124	43	22	47	3	1	21	3	1,039

II. 国内： 新方式 (国立大学等図書館相互における文献複写) で各部局図書掛が受付・依頼を行った件数

部局	附属図書館	文	教	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	低温	合計
受付	1,479	314	176	0	1,356	1,431	153	286	1,027	1,580	427	426	175	8,830
依頼	774	263	120	0	644	1,053	203	437	804	338	226	390	13	5,265

III. 国外への依頼件数 (参考調査掛)

英	米	西独	オランダ	C I S	イタリア	フランス	カナダ	その他	合計
169	160	23	2	23	12	24	4	40	457

IV. 図書館間相互貸借 (相互利用掛) ○他館への貸出 906 冊 ○他館からの借用 300 冊

V. 附属図書館電子複写・マイクロ業務実績 (館内分を除く) (相互利用掛)

複写室 申込者	件数 (件)	複写論文 点数 (点)	処 理 枚 数 ・ コ マ 数					
			総 数	内 訳				
				電子複写 (枚)	マイクロ フィルム (コマ)	マイクロ フィッシュ (枚)	引伸焼付 (枚)	リーダー プリンター (枚)
学 内 者	249	400	5,478	1,876	0	0	0	3,602
学 外 者	2,643	3,852	46,500	46,297	0	0	0	203
合 計	2,892	4,252	51,978	48,173	0	0	0	3,805

VI. 参考質問 (参考調査掛)

所在調査	書誌調査	事項調査	利用指導	情報検索	合計
2,166	677	413	292	344	3,892

○平成3年度CLARK統計

端 末 機 設 置	部 局 ①	名	台数
	附屬圖書部	館	23
	邇法學部	力部	9
	スラ学部	研部	1
	経済分館	部部	2
	教養部	部部	2
	教養部	部部	8
	教養部	部部	1
	教養部	部部	1
	教養部	部部	6
	教養部	部部	3
	教養部	部部	5
	教養部	部部	6
	教養部	部部	2
	教養部	部部	2
	教養部	部部	7
	教養部	部部	7
	教養部	部部	2
	教養部	部部	4
	教養部	部部	2
	教養部	部部	1
	教養部	部部	2
	教養部	部部	1
	教養部	部部	1
	教養部	部部	2
	教養部	部部	12
合 計			112

図書データベース登録数			累計		学術情報 センター の所蔵 登録累積 (92.4.1)
年増加	合計	和書	洋書		
16,089	249,644	151,609	98,035	187,019	—
21,688	②	—	—	—	☆
☆	☆	☆	☆	☆	☆
2,036	2,470	180	2,290	☆	☆
☆	☆	☆	☆	☆	☆
6,912	126,269	88,712	37,557	71,398	—
△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△
6,400	88,106	38,478	49,628	60,372	—
2,523	41,650	33,998	7,652	27,767	—
1,644	33,850	13,971	19,467	22,456	—
3,415	37,920	23,200	14,720	24,370	—
554	11,193	7,781	3,412	6,687	—
217	3,866	2,821	1,044	2,737	—
2,152	75,799	57,174	18,625	35,043	—
2,218	54,054	41,471	12,583	30,166	—
282	4,395	2,314	2,081	3,223	—
861	11,164	10,113	1,051	7,603	—
707	10,754	8,136	2,618	8,446	—
88	3,061	1,910	1,151	2,448	—
213	6,878	3,793	3,085	4,717	—
113	2,470	779	1,691	2,133	—
21	1,559	743	816	1,027	—
1,473	16,435	14,336	2,099	11,379	—
23,083	72,468	63,859	8,609	—	—
92,476	854,008	565,378	288,626	508,991	—
冊	冊	冊	冊	冊	件

雑誌データベース登録数	所蔵雑誌 純誌数	受入雑誌 延べ誌数	製本単位
21,715	—	2,437	259,307
—	☆	901	—
—	☆	499	☆
1,647	—	1,046	5,223
1,237	—	996	10,363
—	△	△	△
—	△	△	△
3,135	—	1,641	9,343
2,190	—	1,481	4,176
4,062	—	1,839	10,852
4,577	—	2,171	14,627
927	—	668	4,718
371	—	270	3,869
4,105	—	2,311	16,660
5,598	—	2,484	11,167
954	—	318	1,990
3,484	—	1,775	8,316
410	—	312	3,986
1,208	—	748	3,373
471	—	158	2,988
210	—	81	1,477
123	—	69	1,282
380	—	316	2,880
11,142	—	—	—
45,135誌	22,521誌	—	—
延べ誌数 84,979誌	純誌数 15,137誌	—	376,597冊

システムを 使用しての貸出	研究室	一般貸出
26,091	—	64,110
11,736	1	
24,679		
8,143		48,982
6,420		
35,953		
97,468		
18,524		
38,424		
16,602		
15,915		
1,675		
69,206		
54,126		
4,067		
5,465		
16,159		
253		
5,407		
10		
1,832		
5,005		
72,489		
535,656	冊	113,092冊

使用用途	①	②
利用費用	36,194	13,794
業務用	—	1,831
	11,740	3,997
	14,480	27,912
	38,265	7,579
	4,943	
	1,144	
	14,691	6,958
	11,367	8,392
	13,132	71,286
	17,850	7,530
	8,697	8,553
	9,859	2,699
	19,354	6,792
	24,567	7,835
	2,651	2,721
	6,248	4,408
	6,196	3,303
	975	
	6,675	3,288
	1,899	
	839	
	15,701	6,199
	4,066	
	17,693	9,394
	3,559	
総合計	1,204,817	回

①部局名＝附属図書館には大計センターの数を含む。☆欄は教養分館に含まれる。スラブ研，経済学部で処理した資料は附属図書館に移管される。②週及入力の累計490,186冊は各部局の累計に含まれる。③蔵書検索画面で検索語を入力し実行キーを押した回数。(但し，10月分は保存MTの媒体障害のため集計に含まれていない。)

◆ 貸出回数頻度順リスト

○本館閲覧室：平成3年度

順位	書 名	著者・編者等	出 版 社	回 数	冊 数
1	銀河英雄伝説 全10巻	田中芳樹	徳間書店	103	10
2	生 化 学 上・下	L. ストレイヤー	東京化学同人	98	12
3	有機化学 4版 上中下	R. T. モリソンほか	東京化学同人	81	12
4	講座日本歴史 全12巻	歴史学研究会ほか編	東京大学出版会	71	24
5	岩波講座日本歴史 全26巻	朝尾直広ほか編	岩波書店	56	26
6	X線回折要論 カリティ	J. D. ロバーツほか	アグネ	41	5
7	有機化学 上・下	E. E. コーンほか	東京化学同人	35	12
8	生 化 学 5版	キッテル	東京化学同人	34	4
8	固体物理学入門 6版 上・下	キッテル	丸善	34	2
10	固体物理学入門 4版 上・下	キッテル	丸善	33	6
10	固体物理学入門 5版 上・下	キッテル	丸善	33	4
12	大学演習熱学・統計力学	久保亮吾編	裳華房	32	3
12	物理化学 4版 上・下	G. M. バロー	東京化学同人	32	4
14	物理化学 4版 上・下	W. J. ムーア	東京化学同人	31	4
14	分子生物学 2版 上・下	D. M. フレフィルダー	化学同人	31	2
16	量子力学 全3巻	メシア	東京図書	29	6
17	細胞の分子生物学 上・下	B. アルバーツ	教育社	28	8
17	遺伝子の分子生物学 3版 上・下	J. D. ワトソン	化学同人	28	8
19	憲法 30講	中村睦男	青林書院	27	2
20	有機化合物のスペクトルによる同定法 4版	R. M. シルバー	東京化学同人	26	2
20	有機化学 5版 上中下	シュタイン	東京化学同人	26	3
22	基礎物理化学 上・下	R. T. モリソン他	東京化学同人	25	4
22	世界史 全22冊	ムーア	東京化学同人	25	22
24	遺 伝 子	ソビエト科学 アカデミー編	東京図書	25	22
24	生化学：細胞の分子的理解 上・下	B. レビン	東京化学同人	24	4
24	2版 上・下	レーニンジャー	共立出版	24	8
24	高等数学 教程 全12巻	スミノルフ	共立出版	24	12
24	演習憲法 新版	芦部信喜	有斐閣	24	2
24	薔 薇 の 名 前 上・下	ウンベルト・エーコ	東京創元社	24	2
29	統計熱力学の基礎 上中下	ライフ	吉岡書店	23	3
29	遺伝子の分子生物学 4版 上・下	J. D. ワトソン	トッパン	23	3
29	微生物学 5版 上・下	R. Y. スタニエほか	培風館	23	2
29	憲法解釈の論点	内野正幸	日本評論社	23	2
33	刑法概説 改訂版 全2巻	大塚 仁	有斐閣	22	4
33	記憶のしくみ：認知心理学的アプローチ 全2巻	R. L. クラッキー	サイエンス社	22	2
35	注釈日本国憲法 上・下	樋口陽一ほか	青林書院新社	21	3
35	電 磁 気 学	ファインマンほか	岩波書店	21	4
35	量子力学	金沢秀夫	朝倉書店	21	2
35	古典力学 新版 上・下	ゴールドシュタイン	吉岡書店	21	2
35	万 葉 集 全8巻	伊藤博ほか編	有斐閣	21	8
40	数理物理学の方法 新装版 全4巻	R. クーランほか	東京図書	20	8
40	Basic principles of spectroscopy	C. Raymond	McGraw-Hill	20	1
40	債権総論 3版	遠藤 浩ほか編	有斐閣	20	2
40	大学院有機化学 上中下	岩村 秀ほか編	講談社	20	9
40	遺伝子と遺伝の情報 全2巻	松原謙一	岩波書店	20	2
40	有機化学 5版 全2巻	バイン	廣川書店	20	2
46	ドイツ史研究入門	西川正雄編	東京大学出版会	19	2
46	貧困なる精神：悪口雑言罵詈	本多勝一	すずさわ書店	19	19
46	諷 刺 集	萩野一善ほか	東京化学同人	19	2
46	物理化学 演習 5版 上・下	バーロー	東京化学同人	19	2
50	刑 法 全2巻	川端 博ほか	有斐閣	18	2
50	岡嶋解剖学 新版	岡嶋敬治	杏林書院	18	3
50	太 平 記 全3巻	後藤丹治ほか校注	岩波書店	18	3
50	有機化学 3版 上中下	R. T. モリソンほか	東京化学同人	18	12
50	薬理学 改訂6版	伊藤 宏	栄光堂	18	2
50	ノルウェイの森 上・下	村上春樹	講談社	18	2
50	電磁気学演習：大学課程	若桑光男	昭晃堂	18	2
50	無機化学 4版 上・下	F. A. コットンほか	培風館	18	4
50	標準国際法	寺澤 一ほか編	青林書院	18	1
50	細胞の分子生物学 2版	B. アルバーツほか	教育社	18	1
50	債権各論 2版	藤岡康宏ほか	有斐閣	18	2

平

○ 館閲覧室： 成3年度

順位	名	著者・編者等	出版社	回数	冊数
1	ノルウェイの森	村上春樹	講談社	31	4
3	新物理化学問題の解き方	藤代亮一	東京化学同人	31	3
4	薔薇の名前	ウンベルト・エーコ	東京創元社	28	2
4	無名	F. A. コットンほか	培風館	23	2
5	地球の歩き方	地球の歩き方編集室	ダイヤモンド	22	8
6	教養の化学	E. F. Neuzil	東京化学同人	21	8
6	プレート・テクトニクス	上田誠也	岩波書店	21	3
6	文学部唯野教授	筒井康隆	岩波書店	21	1
9	分子細胞物学	ダーネルほか	東京化学同人	20	2
9	時間の砂	シドニイ・シェルダン	アカデミー出版	20	2
11	後宮小説	酒見賢一	新潮社	19	1
11	精選微分積分学演習	本多良助ほか	共立出版	19	1
13	六朝・唐・宋・小説選	前野直彬訳編	平凡社	18	1
13	白河夜船	吉本ばなな	福武書店	18	1
15	代数	永尾汎	朝倉書店	17	1
15	電磁気学演習：詳解	後藤憲一ほか編	共立出版	17	1
15	スタンダード微分積分学演習	上見練太郎ほか	共立出版	17	3
15	入門C言語	三田典文	アスキー	17	1
19	分析化学	日本化学会編	丸善	16	4
19	生化学：ライフサイエンスの基礎	三崎旭ほか	培風館	16	1
21	演習微分積分	寺田文行ほか	サイエンス社	15	11
21	熱力学：平行状態と不可逆過程の熱物	キャレン	吉岡書店	15	15
21	理学入門				
21	分析化学 2版	R. L. Pesok ほか	東京学同人	15	1
21	Play the C：初級C言語講座	林晴比古	日本ソフトバンク	15	2
21	バイン有機化学・問題の解き方	S. H. バイン	廣川書店	15	1
21	恋愛論	紫門ふみ	PHP研究所	15	1
21	愛される理由：State of the heart	二谷友里恵	朝日新聞社	15	1
28	生化学	L. ストレイヤー	東京化学同人	14	6
28	物理のための数学	和田三樹	岩波書店	14	5
28	大学新入生のための数学	御園生善尚	現代数学社	14	3
28	定量分析化学 改訂版	R. A. ディほか	培風館	14	1
28	キッチン	吉本ばなな	福武書店	14	1
28	哀しい予感	吉本ばなな	角川書店	14	1
28	分析化学演習	鈴木善孝ほか	産業図書	14	1
28	ハードウェア・ソフトウェア				
28	の総合研究	海老沢栄一ほか	技術評論社	14	1
28	関連知識の総合研究	遠山 暁ほか	技術評論社	14	1
28	微分積分学演習と解法	御園生善尚ほか	廣川 店	14	1
38	無機化学演習	中原 勝麿	東京化学同人	13	1
38	微分積分演習と解法	三村 護	現代数学社	13	2
38	大学演習量子力学	小谷正雄ほか 書	裳華房	13	4
38	基礎無機化学	F. A. コットンほか	培風館	13	6
38	物理化学演習	山本大二郎ほか	産業図	13	1
38	女遊び	上野千鶴子	学陽書房	13	1
38	遺伝子 3版	B. レビン	東京化学同人	13	2
38	新分析化学実験	日本分析化学会 北海道支部	化学同人	13	1
38	ドイツ語教養課程：トレーニングパー	教育社編	教育社	13	3
38	大人のための残酷物語	倉橋由美子	新潮社	13	1
38	FORTRAN の総合研究	牛沢賢二	技術評論社	13	1

◆ 図書館委員会委員及び教養分館委員名簿

○ 図書館委員会委員名簿

平成4年7月1日現在

部 局	官 職	氏 名	任 期	部 局	官 職	氏 名	任 期
文 学 部 教育学部 法 学 部 経済学部 理 学 部 医 学 部 歯 学 部 薬 学 部 工 学 部 農 学 部	館 長	近 藤 潤 一	平成5.3.31	獣医学部	教 授	戸 尾 祺明彦	平成5.7.31
	分 館 長	東 出 功	平成5.3.31	水産学部	〃	山 崎 文 雄	平成6.4.30
	事務局長	岡 林 隆	平成4.7.1~	教 養 部	〃	鈴 木 敏 夫	平成5.3.31
	学生部長	丹 保 憲 仁	平成5.3.31	〃	助 教 授	篠 塚 寛 美	平成6.3.31
	教 授	河 内 祥 輔	平成6.3.31	言語文化	〃	小 川 泰 寛	平成6.4.9
	〃	逸 見 勝 亮	平成6.3.31	環 境 研	教 授	山 村 悦 夫	平成5.5.27
	〃	田 口 晃	平成6.3.31	低 温 研	〃	芦 田 正 明	平成5.3.31
	〃	石 坂 昭 雄	平成5.3.31	電 子 研	〃	伊 福 部 達	平成4.9.30
	〃	石 川 健 三	平成5.3.31	免 疫 研	〃	上 出 利 光	平成6.3.31
	〃	大 里 外 譽 郎	平成6.3.31	医 病	〃	山 下 格	平成4.9.15
	〃	小 口 春 久	平成6.3.31	触 媒 研	〃	早 川 和 延	平成6.3.31
	助 教 授	徳 光 幸 子	平成6.3.31	スラブ研	〃	望 月 喜 市	平成5.3.31
	教 授	新 保 勝	平成6.5.31	医療短大	〃	鈴 木 重 統	平成5.3.31
	〃	霜 鳥 茂	平成5.3.31				

○ 平成4年度教養分館委員名簿

平成4年6月30日現在

部 局	官 職	氏 名	任 期	部 局	官 職	氏 名	任 期
西 洋 史	分 館 長	東 出 功	平成5.3.31	数 学 学	助 教 授	前 田 芳 孝	平成5.3.31
日本文学	助 教 授	篠 塚 寛 美	平成6.3.31	物 理 学	〃	兼 古 昇	平成5.3.31
政治学	教 授	川 人 貞 史	平成6.3.31	独 語	〃	佐 藤 俊 一	平成6.3.31
体 育	助 教 授	鈴 木 敏 夫	平成5.3.31				

委員以外の出席者 (言語文化部図書委員長)

学 科	官 職	氏 名	任 期
英 語	助 教 授	小 川 泰 寛	平成5.3.31

◆ 人事往来

○ 転 入

金 井 孝	事務部長 (静岡大学附属図書館事務部長)	4. 4. 1
大 場 秀 穂	情報システム課長 (文部省大臣官房福利課企画係長)	〃
阿 部 勝 義	情報管理課庶務掛長 (旭川医科大学教務部学生課入学試験掛長)	〃
木 下 彰	情報システム課学術情報掛長 (北見工業大学附属図書館整理掛長)	〃
齋 藤 温 子	薬学部図書掛長 (旭川医科大学教務部図書課閲覧参考掛長)	〃
土 田 健 治	工学部図書整理掛 (愛知教育大学)	〃

○ 転 出

藤 島 隆	山梨医科大学教務部図書課長 (情報システム課課長補佐)	4. 4. 1
杉 田 福 夫	旭川医科大学教務部図書課情報サービス係長 (情報システム課情報処理掛)	〃

東 重 俊	北見工業大学附属図書館運用係長 (医学部図書閲覧掛)	4. 4. 1
鈴 木 敬 二	学術情報センター管理部共同利用課情報・資料係長 (情報システム課学術情報掛)	〃
○配 置 換		
三 上 洋 由	情報管理課長 (情報システム課長)	4. 4. 1
山 本 幾 夫	情報サービス課図書館専門員 (歯学部総務課図書掛長)	〃
田 中 一 郎	情報管理課教養分館情報管理掛長 (工学部総務課図書整理掛長)	〃
和 田 章 憲	情報サービス課教養分館情報サービス掛長 (情報システム課情報処理掛長)	〃
山 下 洋 一	情報システム課情報処理掛長 (薬学部図書掛長)	〃
堅 田 政 孝	文学部図書掛長 (情報管理課教養分館情報管理掛長)	〃
新 岡 弘	教育学部図書掛長 (情報サービス課教養分館情報サービス掛長)	〃
伊 藤 秀 治	理学部図書掛長 (教育学部図書掛長)	〃
船 木 敏 美	歯学部総務課図書掛長 (農学部図書整理掛長)	〃
庄 司 重 陽	工学部総務課図書整理掛長 (工学部総務課図書閲覧掛長)	〃
星 賀 隆	工学部総務課図書閲覧掛長 (理学部図書掛長)	〃
岡 田 敏	農学部庶務掛長 (情報管理課庶務掛長)	〃
武 井 好 一	農学部図書整理掛長 (低温科学研究所図書掛長)	〃
佐 藤 透	低温科学研究所図書掛長 (文学部図書掛長)	〃
松 本 禮 一	情報管理課図書受入掛 (情報サービス課資料サービス掛)	〃
佐々木 光 子	情報管理課教養分館情報管理掛 (法学部スラブ研究センター事務掛)	〃
中 條 将 喜	情報サービス課資料サービス掛 (文学部図書掛)	〃
佐 藤 依理子	情報サービス課資料サービス掛 (情報管理課図書受入掛)	〃
村 上 豊	情報サービス課教養分館情報サービス掛 (理学部図書掛)	〃
田 中 健太郎	情報システム課学術情報掛 (情報管理課教養分館情報管理掛)	〃
松 尾 博 明	情報システム課学術情報掛 (工学部総務課図書整理掛)	〃
櫻 洋 子	法学部スラブ研究センター事務掛 (情報サービス課資料サービス掛)	〃
新 関 教 子	理学部図書掛 (情報管理課図書受入掛)	〃
伊 藤 啓 子	医学部図書閲覧掛 (情報管理課図書受入掛)	〃
福 井 みゆき	工学部総務課図書閲覧掛 (工学部化学系図書室)	4. 4. 10
平 松 麗 子	電子科学研究所 (応用電気研究所)	〃
梶 原 茂 寿	電子科学研究所 (応用電気研究所)	〃
○採 用		
川 楠 有 紀	文学部図書掛	4. 4. 1
小 林 真木子	医学部図書閲覧掛	〃
佐 藤 優 子	工学部化学系図書室	〃
○定 年 退 職		
宮 島 太 郎	事務部長	4. 3. 31
似 鳥 正 吾	情報管理課長	〃
秋 月 俊 幸	情報サービス課図書館専門員	〃
大 垣 徇	工学部総務課図書閲覧掛	〃
得 丸 静 子	医学部図書閲覧掛	〃
川 邊 良 夫	情報サービス課教養分館情報サービス掛	〃

北海道大学附属図書館報「ゆいん」 通号 84 号

平成 4 年 (1992 年) 8 月 31 日 発行 発行人 附属図書館事務部長 金 井 孝

編集事務 山本幾夫・阿部勝義・山下洋一・黒田泰行・田中一郎・吉竹 忍・

川端美明・佐藤依理子・松尾博明・斉藤寿美子・土田京子・吉田恭子

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北 8 条西 5 丁目 716-2111 (2967)

印刷所 文 栄 堂 印 刷 所 札幌市中央区北 2 条東 12 丁目 231-5560・5561